

3つの事業分野

¹ **3つの事業分野**

²⁻³ 世界的リーダー として

4-5 **事業活動**

⁶⁻⁷ <mark>サステナビリティ</mark> データ

8 ヴェオリアのESG概観

9-11 **人的資産に関するデータ**

12-15 環境に関するデータ

16 - 17 **地域社会に関するデータ**

18-20 **多面的パフォーマンス指標**



水事業

1億1,100万人 に飲料水を供給

9,700万人

に下水処理サービスを 提供

4,130カ所 の浄水場を管理

3,506カ所 の下水処理場を管理

廃棄物処理事業

4,600万人 にごみ収集サービスを 提供

6,100万トン の廃棄物を処理

53万3,759

の法人顧客

823カ所

の廃棄物処理場を管理



エネルギー事業

4,400万MWh

のエネルギーを生産

4万6,922カ所

の熱設備を管理

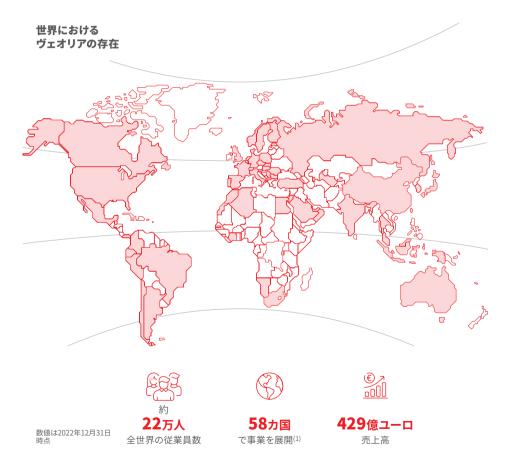
680カ所

の地域冷暖房ネットワーク を管理

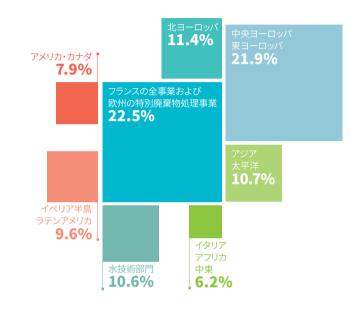
2,716カ所

の産業施設を管理

各地域において 力強い存在感を示す 世界的リーダー



売上 構成比率



ヴェオリアは、すべての主要国と主要事業でトップ3に入る世界のリーダー

スエズとの合併により主要国と主要事業における存在感が強化され、付加価値の高いソリューション分野で の成長可能性が高まりました。以下は各分野におけるランキングです。

■水サービス分野 世界:**第1位** ヨーロッパ:第1位 アメリカ:第3位

■水技術分野

世界:第1位

■固形廃棄物分野 ヨーロッパ:第1位 フランス:第2位 イギリス:**第1位** ドイツ:**第2位**

■有害廃棄物分野 世界:第1位

ヨーロッパ:第1位 アメリカ:第3位

■地域暖房分野 ヨーロッパ:第2位

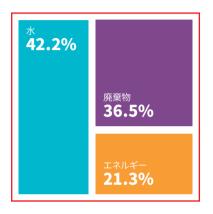
■エネルギー効率分野 ヨーロッパ:第2位

オーストラリア:第1位

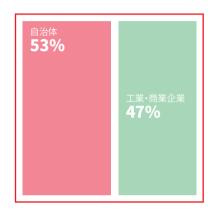
データ:2023年3月

事業活動

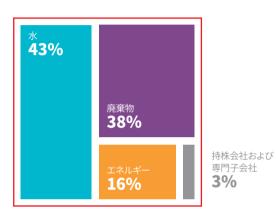
事業分野別の売上高構成比率



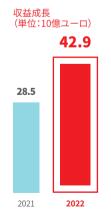
グループの顧客比率



事業分野別の従業員構成比率

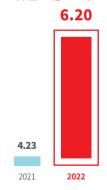


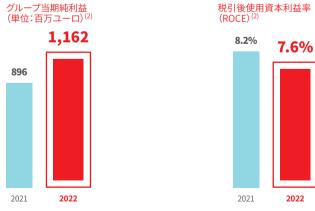
財政と決算



(1) IFRIC第12号、IFRS第16号の影響を含む

EBITDA (単位:10億ユーロ)(1)





(2) 2020年および 2021年のデータを修正。詳細はURD2022の 5.6.2項をご参照ください。

2022



ステナ リティ ー

ヴェオリアの ESG

概観



1,400万トン

ヴェオリアのソリューション により<mark>回避</mark>された温室効果 ガス排出量(CO₂換算)

3億2,000万m3

2022年ネットワークの成果 により**節約された水**の量 (2019年比)

49万トン

世界37カ所の工場で リサイクルされた プラスチックの量



89%

エンゲージメント率 lpsosエンゲージメント調査 (2021年比で2ポイント増)

100%

全従業員を福利厚生制度 「ヴェオリアケア」でカバー

100万

ヴェオリアの事業活動によ り直接的、間接的に創出さ れた**地域雇用**



多面的

パフォーマンス 19のKPI(うち、14は非財務) の外部エンゲージメント

1万6,000人

多面的パフォーマンスに基 づいて賞与を受給している **従業員数**

筆頭

株主=従業員 資本の6.5%

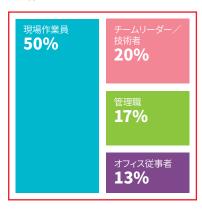
ヴェオリアの多面的パフォーマンス

人的資産に関する

データ

スタッフ構成

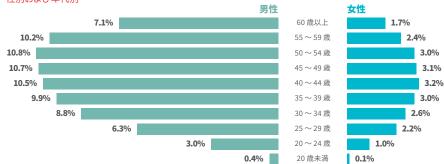
職種別



77.7% ^{男性}

22.3% _{女性}

性別および年代別



93%

の従業員が 正規雇用 3,600人

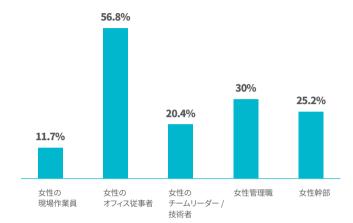
の勤労学生うち 57%がフランス勤務 **13.1**%

の従業員が 30歳未満 **35%** の従業員が 50歳以上 43.7歳

従業員の 平均年齢

ジェンダーバランス ― 女性活躍推進

職種別の女性比率



22.3%

女性の割合

60%

取締役会に占める 女性の割合

女性の割合 (2023年目標)

▶ 35%

正規雇用の管理職 (外部登用)

25% 管理職

▶ 30% マネジメント **▶ 50%**

幹部上位500人に占める 女性の割合 (2020~2023年)

職場の安全

0.39

労働災害強度率 (2021年0.43)

74%以上

の従業員が1回以上の安全衛生講習を 受講

1,000実労働時間当たりの労働損失日数

5.61

労働災害度数率 (2021年6.65)

2023年目標 ▶ 5

100万実労働時間当たりの労働災害による 死傷者数

従業員研修と エンプロイアビリティ

91%

の従業員が 1回以上の研修を受講

26時間

従業員1人当たりの 年間平均研修受講時間

2023年目標 > 23 時間

従業員のコミットメント

2022年の第三者調査「Voice of Resourcers」で測定した従業員の **VOICE OF RESOURCERS** エンゲージメント率

89% 調査対象である全従業員(約11万5,000 人) のコミットメント率

調査対象を2020年の約8万人から2021年には約10万人へ、さらに2022年にはグループ全体の従業員の75%に当たる16万人へ拡大。 コミットメント率も2021年比で向上。

2023年目標 ▶ ≥ 80%

社会的事項に関する話し合い

1,533

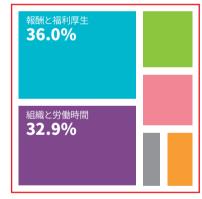
締結された合意書数

85%

社会的事項に関する 話し合いの対象となる 従業員数の割合

2023年目標 ▶ > 95%

締結された合意書の主題別構成比



安全衛生 10.9%

社会的事項に 関する話し合い 9.9%

その他 6.0%

スキル開発 4.3%

欠勤

4.37%

欠勤率(出産、育児を除く) (2021年4.22%)

環境に関するデータ

環境汚染物質の処理とエコロジカル・ トランスフォーメーションの加速

98.2%

ビジネスユニット内の環境産業マネジメント システム(EIMS)展開率

2023年目標 > 95%

気候変動対策

30%

2030年までのヨーロッパにおける脱石炭に向けた投資計画の進捗状況

2023年目標 > 30% 対投資額

1,400万トン(CO2換算)

年間温室効果ガス(GHG)排出回避量

2023年目標 ▶ 1,500万トン 002換算

運転管理の制御によるGHG排出量の変化

スコープ1 (直接排出量) 2,860 万トン(CO₂換算)

スコープ 2 (エネルギー購入による間接排出量) 500 万トン(CO₂換算)

スコープ3 (その他の間接排出量) 2,090 万トン(CO₂換算)

4.4% 2018年のスコープと比較したスコープ1 および2のGHG排出量削減率(SBT)

2023年目標 -3%

55.6%

現在のスコープにおけるメタンガス回収率

2023年目標 > 55%

24% 発電所のエネルギー消費量に占めるバイオマスの割合

2023年目標 24%

+13.4% 再生可能エネルギー生産量およびエネルギー回収量(2019年比)

2023年目標 ▶ +15% 2019年比

99.5%

年間100GWh以上を販売する熱設備において発電に使用する木質バイオマスの中でトレーサビリティが保証されている割合

2023年目標 ▶ 98%

74.2%

年間100GWh以上を販売する熱設備における発電の 認証を受けた木質バイオマスの割合

2023年目標 80%

74.4%

熱電併給によるエネルギー生産のエネルギー効率

2023年目標 ▶ 70%

1.2 kg CO₂/km

廃棄物回収車両によるCO₂排出量

2023年目標 ▶ < 1.4 kg CO₂/km

30% 課題のある事業所への 洪水リスク対応計画展開率

エネルギー効率の向上

324 Wh/m³

10万人相当以上の処理能力を有する下水処理場で下水処理に使用した電力量

2023年目標 ▶ < 335 Wh/m³

309 Wh/m³

6万m³/日以上の処理能力を有する浄水場(淡水化プラントを除く)で水道水の製造に使用した電力量

2023年目標 ▶ < 250 Wh/m³

サーキュラーエコノミーの促進

49万トン

ヴェオリアの工場でリサイクルしたプラスチックの量

2023年目標 61 万トン

84億ユーロ

サーキュラーエコノミー関連の売上高

2023年目標 ▶ 63 億ユーロ

17%

廃棄物処理の再資源化率

2023年目標 20%

24% 廃棄物処理のエネルギー生産率

2023年目標 30%

93% 廃棄物焼却の焼却灰(ボトムアッシュ) 回収率

2023年目標 > 90%

71% エネルギー事業の焼却灰(ボトムアッシュ、フライアッシュ)回収率

2023年目標 ▶ > 70%

73% 下水処理の汚泥回収率

2023年目標 ▶ > 75%

86% 有害廃棄物処理の減容化率

環境および生物多様性の保全

66% 自然環境と生物多様性に与える影響を改善する必要のある現場におけるアクションプランの進捗率

2023年目標 75%

59% 除草剤および殺虫剤の使用量ゼロの 現場(1)の割合

2023年目標 75%

53% 1ヘクタール超の緑地を有する現場(2) における環境管理実施率

2023年目標 75%

51% 環境および生物多様性の保全について社内外の問題意識が向上した現場⁽²⁾の割合

2023年目標 > 50%

人口当量10万人以上の処理能力を有する下水 処理場の下水処理

95.6% BOD除去率

2023年目標 ▶ ≥ 95%

91.5% COD除去率

2023年目標 ▶ ≥ 90%

- (1) 報告範囲:廃棄物処理事業(すべての現場)、水事業(対象人口 10万人以上に相当する処理能力を有する汚水処理場および 6万m³/日以上の処理能力を有する浄水場)、エネルギー事業 (年間100GWh以上を販売するエネルギー年齢で
- (2) Local Footprint® 方法論により Utopiesが計算

焼却による排出物

120 mg/Nm³ 窒素酸化物(EU排出 ガス規制の平均60%)

2023年目標 ▶ < 115

13 mg/Nm³ 硫黄化合物 (EU排出ガス規制の平均26%)

2023年目標 > < 40

2.3 mg/Nm³ ばいじん(EU排出ガス 規制の平均23%)

2023年目標 > < 10

年間100 GWh以上を販売する熱設備における エネルギー生産からの排出量 (消費エネルギー 1 MWh当たり)

204 g/MWh 窒素酸化物

2023年目標 ▶ < 270 g/MWh

136 g/MWh 硫黄酸化物

2023年目標 ▶ < 210 g/MWh

11 g/MWh ばいじん
2023年目標 > < 13 g/MWh
3.4 g/MWh 水銀
2023年目標 > < 5 g/MWh

持続可能な水資源管理

76.3% 給水人口5万人以上の水道網の有効率

2023年目標 ▶ ≥ 75%

9億8,900 万m³の処理水を再利用

63%

大きな水ストレス※を抱える現場への水診断展開率

2023年目標 ▶ 95%

※水不足の程度を表す指標。高いほど 水不足が深刻な状態

73%

逓増(ていぞう)制が適用されている水道使用者の割合

2023年目標 ▶ 80%

954 万台のスマートメーターの導入

2023年目標 ▶ 600 万台

地域社会に関するデータ

必要不可欠なサービスへのアクセス

顧客との包括的契約により692万人に対し、 水道または下水道へのアクセスを可能に(2019 年比21.3%增)

2023年目標 +12% 2019年比

水道と下水道への新たなアクセス

710万人に新たに水道サービスを提供 (2015年のSDGs採択以降)

800 万人に新たに下水処理サービスを提供 (2015年のSDGs採択以降)

ヴェオリア財団が新たに参画した開発援助あるいは 緊急人道支援プロジェクトの数:

14

ヴェオリアフォースは約20のプロジェクトを通じて

18人のボランティアによる261人日の技術支援と

8人の常駐スタッフによる

1,386 人日の支援を実施

地域の発展と魅力への貢献

ヴェオリアの影響を測定するために毎年行って いる社会経済調査結果によると、地域における 雇用とリソースの創出は、

50 カ国で

114万7,238 の雇用を支援し

533億ユーロ の富を創出(GDPに寄与)

ヴェオリアが生み出す1ユーロの付加価値に対 して、実経済においてさらに2.3ユーロが生み出 されています。ヴェオリアでの直接雇用1件につ き、6.1件の追加雇用が実経済において支援さ れています。

2023年目標 > 2020年以降、少なくとも45カ国で 世界的・地域的影響を年次評価

支出の90.9%を地域に再投資

2023年目標 80% 超を維持

サプライヤー契約データベースに登録されてい る有効な契約のうち93%がヴェオリアグ ループのCSRに関する条項を含む

2023年目標 > 95%

過去3年間に評価された戦略的サプライヤー の割合 81%

2023年目標 85%

フランスにおけるヴェオリアのサプライヤーの 71% は中小企業、14% は中堅企業で、

計30億4,600万ユーロの支出に相当

フランスにおける購買費用のうち 1.210万ユーロは 労働者が保護されているセクターから購入

ソーシャルオープンイノベーションプログラム 「Pop Up」を世界13 地域で展開し、20件の起 業家とのコラボレーションを実現

倫理とコンプライアンス

従業員エンゲージメント調査において回答者の 85%が「ヴェオリアの価値観と倫理は社内に適用 されているか?」という質問に対して肯定的に回答

2023年目標 > > 80%

2万9.700人の従業員が、汚職防止、利益相反、 反競争的慣行と警戒プランに関するeラーニングを

2023年

多面的パフォーマンス



1. ヴェオリアの ステークホルダー 2. ヴェオリアの パフォーマンス 3. ヴェオリアの コミットメント

ダェオリアの ゴール

目標と関連指標	基準	結果	結果	结果	目標
経営・財務に関するパフォーマンス			<u> </u>	\	
■ 収益成長率 年間売上高	272 億ユーロ	260 億ユーロ	285 億ユーロ	429 億ユーロ	年間目標
■ 収益性 グループ連結の当期純利益	7.6 億ユーロ	4.15 億ユーロ	8.96 億ユーロ	11.62 億ユーロ	10 億ユーロ
■使用資本利益率(ROCE) 税引後の使用資本利益率(IFRS 16 適用)	8.4%	6.4%	8.2%	7.6%	年間目標
■ 投資能力 裁量的投資実行前の フリーキャッシュフロー	12.3 億ユーロ	9.42 億ユーロ	17.2 億ユーロ	14.63 億ユーロ	年間目標
人財に関するパフォーマンス				\	
■ 従業員コミットメント 第三者調査に基づく 従業員エンゲージメント率	84%	87%	87%	89% ⁽¹⁾	≥ 80%
■職場の安全 労働災害度数率	8.12	6.60	6.65	5.61	5
■ 従業員研修とエンプロイアビリティ 従業員 1 人当たりの年間研修時間	18 時間	17 時間	21 時間	26 時間	23 時間
■ 多様性 エグゼクティブリソーサーに占める 女性の割合(2020 ~ 2023 年) ⁽²⁾	適用外	28.3%	30.4%	30.3%	50%
事業に関するパフォーマンス	>	<u> </u>	<u> </u>	>	<u> </u>
■ 顧客および利用者の満足 ネットプロモータースコアを用いて測定した 顧客満足度	適用外	NPS スコア 41、 57%の売上を	NPS スコア 43、 72%の売上を	NPS スコア 48、 83%の売上を	NPSスコア30超、 75%の売上を
■ 革新的ソリューションの展開 グループが締結した契約(最低 10 件)に 含まれるイノベーションの数	適用外	対象に実施 2	対象に実施 6	対象に実施 ⁽³⁾ 10	対象に実施 12
有害廃棄物の処理と再資源化 有害および液体廃棄物処理事業における 連結売上高	25.6 億ユーロ	25.3 億ユーロ	30.6 億ユーロ	41.2 億ユーロ	>40億ユーロ

2019年

日煙と関連指煙

2021年

2020年

2022年

目標と関連指標	2019年 基準	2020年 結果	2021年 結果	2022年 結果	2023年 目標
環境に関するパフォーマンス	-	· >		>	<u> </u>
■気候変動対策 ・温室効果ガスの排出削減:2030年までのヨー ロッパにおける脱石炭に向けた投資計画の進捗 状況	適用外	投資額の 8.1%	投資額の 17%	投資額の30%	投資額の30% ⁽⁴⁾
 温室効果ガスの排出回避:年間 GHG 排出回避量 (参照シナリオに関する評価) – EF IEA 2013⁽⁵⁾⁽⁶⁾ 	1,210 万トン (CO ₂ 換算)	1,250 万トン (CO ₂ 換算)	1,240 万トン (CO ₂ 換算)	1,410 万トン (CO ₂ 換算)	1,500 万トン (CO ₂ 換算)
■ サーキュラーエコノミー:プラスチックリサイクル ヴェオリアのプラスチックリサイクル工場で再生し たプラスチックの量 ⁽⁷⁾	35.0 万トン	39.1 万トン	47.6 万トン	49.0 万トン	61.0万トン
■ 環境と生物多様性の保全 自然環境と生物多様性に与える影響を改善する必 要のある現場におけるアクションプランの進捗率 ⁽³⁾	適用外	1.7%	30%	66%	75%
■ 水資源の持続可能な管理 飲料水供給網の効率性 ⁽⁹⁾ (飲料水の使用量/飲料水の生産量)	72.5%	73.4%	75.6%	76.3%	>75%
地域社会に関するパフォーマンス					_
地域における雇用と富の創出 ヴェオリアが事業を展開する各国における雇用支援と富の創出に関する社会経済的フットプリント	適用外	51 カ国で 1,105,388 の雇 用支援および 510 億ユーロの 付加価値創造	52 カ国で 1,033,623 の雇 用を支援し、 490 億ユーロの 付加価値を創造	50 カ国で 1,147,238 の雇 用を支援し、 530 億ユーロの 付加価値を創造	少なくとも45カ国 において、全体お よび地域別の影響 度を年次評価
■倫理とコンプライアンス エンゲージメント調査における「ヴェオリアの価値観と倫理は社内で実践されている」という質問に対する肯定的な回答の割合	上位 5,000 人の うち 92%	全回答者の 83%	全回答者の 84%	全回答者の 85% ⁽¹⁰⁾	全回答者の80% 以上
■必要不可欠なサービス(水道と下水道)への アクセス ヴェオリアとの包括的契約によって水道と下水道 にアクセスすることが可能となった住民の数	571 万人	612 万人 (+7%)	671万人 (+17.5%)	692 万人 (+21.3%)	継続的な案件において2019年比+12%

この文書は、2023年4月にヴェオリアのコミュニケーション部門によって制作されました。 Photo credits: Veolia Multimedia Library: Boby/Fisheye, Martin Colombet/Fisheye,

Olivier Guerrin, Christophe Majani d'Inguimbert. Getty Images: Marco Bottigelli.

Design and production: HAVAS PARIS

日本語版は2023年9月、ヴェオリア・ジャパンのコミュニケーション室によって監修されました。

ました。
(5) Impact 2023) 計画の目標設定にあたっては、電力排出係数 (Emissions factors, EF IEA) を使用。
(6) 2021 年にグローバルボート報告ツール内でアップデートされた 2021 EF IEA では、2022 年の値は 1,200 万トン (CO, 換算)。
(7) 2021 年以来、WEEE を表現するプェオリアの工事で製造した再生プラステックと、ヴェオリアの両軍を通した再生プラステックと含みます。2022 年の非連結ジョイントペンチャー
については、当該ジョイントペンチャーへのヴェオリアの出資機の耐合に比例した再生プラスチックの量を含みます。
(8) グロブライック (2019~2021年)
(9) 総裁約な契約における後め大几 5 ブスト風の管網が対象。
(10) 天紅ス合物・駅に長額した従業員を含む対象を絡が人に 2022 年データ: 85%

Resourcing the world